

第426回 番組審議会

1. 日 時 平成19年11月20日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 13名

出席委員 9名

出席委員

副委員長	橋田 純一
委員	和田 利彦
委員	梅村 俊男
委員	高橋 三男
委員	西郷 喜代子
委員	佐藤 晴久
委員	増川 博之
委員	嶋村 正
委員	上野 克幸

欠席委員	委員長	藤元 隆一
	委員	帷子 利明
	委員	千葉 則茂
	委員	早瀬 藤二

社側出席者	中野 士朗 (代表取締役会長)
	矢後 勝洋 (代表取締役社長)
	石井 修平 (専務取締役)
	阿部 孝夫 (常務取締役)
	千葉 正範 (役員待遇営業局長)
	沢 行則 (制作局長)
	廣嶋 文樹 (制作局制作部主任)

事務局	青山 尚之 (編成局長)
	高橋なおみ (編成局編成部主任)

4. 議 題

1. 「七輪の侍～ニッポンの焼き魂を見よ！～」

10月13日（土）午後1時30分～2時55分

2. その他ご覧になった番組についてのご意見

5. 資 料

資料として以下のものを配布

- ・視聴者からのご意見
- ・BPO報告
- ・月間民放

6. 議事の概要

社側説明

番組審議会の議題「七輪の侍～ニッポンの焼き魂を見よ！～」は、10月13日（土）午後1時30分～2時55分で放送いたしました。この番組は、東北・北海道の7道県で7年に1回幹事社になり制作する番組です。お互いに協力し合い制作能力を高めようと20年前からスタートいたしました。

委員側意見

まとめますと食材と郷土色を取り扱ったことで、お国自慢のような番組。食育の視点から見た評論がなされたと思います。タレント・地元の人を含め、笑いの演出の仕方ほどの程度打ち合わせしているか、タレントの人選・組み合わせの基準は何かお考えがあったのか教えて欲しいと思います。全体のストーリーとして、1道6県の関連性、全体を貫く基本が欲しかったと思います。

また、番組で使用する用語が低俗で、番組の品格が疑われる内容だったと思います。

その中で、ナレーションの絶妙さが際立ちました。

社 側

この番組は、東北・北海道の7局がお互いに協力して、番組の制作能力を高める目的で20年来放送している番組です。とりわけ娯楽系の制作能力を高めようということで、委員の皆様にご指摘いただいたナンセンスなやり取りや、過剰演出も娯楽番組とご理解いただきたいと思います。

社 側

この番組は、7年に1度のチャンスで、地方局では普段はこのような番組を作る機会がないので、タレントさんに引きずられたり、ギャグが多かったことはご指摘のとおりだと思っております。カメラマン・音声・ナレーションと全て自社スタッフで作りました。

お笑い番組の撮影の仕方のご質問がございましたが、基本的には大まかな打ち合わせはしますが、入念なりハーサルとかはしないで、ライブ感を重視しました。素人さんの人選に

つきましては、事前の下見に行ってお急ぎに打ち合わせをしたことが、良かったと思いません。タレントの人は、全て別の事務所と交渉して決めました。

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、関連部署に議事録を配布するなど関係者に審議の内容を伝えた。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合における

その公表の内容、方法及び年月日

- ・自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」

(平成19年11月27日(火)午前11時50分～11時57分放送) で、審議の概要を放送。

- ・支社・支局に議事録を設置

- ・当社のインターネットのホームページで議事録を公開。